2023年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年８月12日

上場会社名　トレンダーズ株式会社　上場取引所　東

コード番号　6069　ＵＲＬ　https://www.trenders.co.jp/

代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）黒川 涼子

問合せ先責任者　（役職名）取締役CFO　（氏名）田中 隼人　ＴＥＬ　03-5774-8876

四半期報告書提出予定日　2022年８月12日　配当支払開始予定日　－

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2023年３月期第１四半期の連結業績（2022年４月１日～2022年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年３月期第１四半期	2,657	65.8	433	111.8	446	120.0	310	129.6
2022年３月期第１四半期	1,602	165.4	204	121.3	202	113.3	135	92.8

（注）包括利益　2023年３月期第１四半期　313百万円（131.6%）　2022年３月期第１四半期　135百万円（92.8%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年３月期第１四半期	43.33	41.11
2022年３月期第１四半期	19.00	18.26

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年３月期第１四半期	5,456	2,990	54.7
2022年３月期	4,711	2,792	59.2

（参考）自己資本　2023年３月期第１四半期　2,988百万円　2022年３月期　2,789百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年３月期	－	0.00	－	16.00	16.00
2023年３月期	－				
2023年３月期（予想）		0.00	－	22.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2023年３月期の連結業績予想（2022年４月１日～2023年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	12.8	850	43.2	850	43.6	570	42.6	79.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規　－社　（社名）　　、除外　1社　（株式会社MimiTV）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年３月期１Ｑ	7,608,000株	2022年３月期	7,608,000株
② 期末自己株式数	2023年３月期１Ｑ	433,724株	2022年３月期	433,685株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年３月期１Ｑ	7,174,302株	2022年３月期１Ｑ	7,125,797株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はＴＤｎｅｔで同日開示しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（会計方針の変更） …… 7
（セグメント情報等） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当社グループが属するインターネット広告市場は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があった中でも着実な成長を続け、2021年の市場規模は２兆7,052億円（前年比21.4%増）に到達し、マスコミ四媒体の広告費の合計を初めて上回りました。また、2021年の日本の総広告費も前年比10.4%増の６兆7,998億円であり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で落ち込んだ前年から回復しております。（※１）

インターネットが社会全体のインフラとなっている現在、インターネットでアクセスできる各種プラットフォームやWebサイト、Webサービス等は、生活者にとって欠かせない情報源であり、中でも、多種多様なアカウントより発信される情報をリアルタイムで入手できるSNSは、生活者の意識や購買行動に与える影響力を増しております。企業においても、SNSを活用したマーケティングに注力する動きが加速しており、SNS広告の市場規模は、2020年においては2,488億円（※２）、2021年においては3,168億円（※３）と拡大しております。

（※１）株式会社電通「2021年 日本の広告費」

（※２）株式会社サイバー・コミュニケーションズ、株式会社D2C、株式会社電通、株式会社電通デジタル「2020年 日本の広告費 インターネット広告媒体費 詳細分析」

（※３）株式会社CARTA COMMUNICATIONS、株式会社D2C、株式会社電通、株式会社電通デジタル「2021年 日本の広告費 インターネット広告媒体費 詳細分析」

こうした環境のもと、当社グループにおいては、顧客企業及び生活者のニーズに合致するSNSを軸としたデジタルマーケティングソリューションの開発・提供に注力いたしました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	2,657,285千円（前年同期比65.8%増）
営業利益	433,860千円（前年同期比111.8%増）
経常利益	446,501千円（前年同期比120.0%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	310,827千円（前年同期比129.6%増）

セグメント別の業績は以下のとおりです。

①マーケティング事業

マーケティング事業は、「マーケティングソリューション領域」「ブランド・メディア開発領域」「メディカルビューティー領域」の３領域から構成されます。各領域の内容は以下の通りであります。

＜マーケティングソリューション領域＞

主に美容・食品飲料カテゴリの顧客企業に向けたSNSマーケティング支援

＜ブランド・メディア開発領域＞

自社メディアの運営と化粧品の輸入販売

＜メディカルビューティー領域＞

美容クリニック専売品の開発・販売とクリニックの総合プロデュース・運営支援

本事業においては、引き続き旺盛なSNSマーケティング需要を背景として、マーケティングソリューション領域のインフルエンサーサービスと美容メディアであるMimiTV等が好調に推移してまいりました。また、当該サービスとの連携強化及び複数の特定代理店との取引増加により、SNS広告の取扱額も拡大いたしました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	2,324,029千円（前年同期比46.7%増）
セグメント利益	367,726千円（前年同期比74.2%増）

②インベストメント事業

インベストメント事業は、保有する資金を効果的、効率的に運用するため、非上場会社等への投資を行っております。

本事業においては、営業投資有価証券として保有する社債の利息収益と、投資事業有限責任組合出資の譲渡による収益が発生いたしました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

なお、売上高の対前年同期増減率は1,000%を超えるため、記載しておりません。

売上高	333,256千円（前年同期比－）
セグメント利益	93,535千円（前年同期比431.7%増）

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は5,456,011千円（前連結会計年度末比744,435千円増加）となりました。主な要因は、売上高の増加に伴い現金及び預金、売掛金及び受取手形が増加したこと、及び営業投資有価証券が増加したことによるものであります。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債は2,465,140千円（前連結会計年度末比545,776千円増加）となりました。主な要因は、売上高の増加に伴い売上原価も増加し買掛金が増加したこと、及び約定した社債に対する未払金が増加したことによるものであります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は2,990,871千円（前連結会計年度末比198,658千円増加）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年３月期の業績予想につきましては、2022年５月13日に公表いたしました内容から変更しておりません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2022年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,607,873	1,982,438
受取手形及び売掛金	1,004,816	1,161,082
営業投資有価証券	1,762,094	1,926,696
商品	22,656	23,411
仕掛品	29,389	25,643
その他	35,570	92,447
貸倒引当金	△1,018	△1,191
流動資産合計	4,461,382	5,210,528
固定資産		
有形固定資産	60,185	57,586
無形固定資産		
のれん	25,241	23,979
その他	78,068	86,795
無形固定資産合計	103,310	110,774
投資その他の資産	86,696	77,122
固定資産合計	250,193	245,483
資産合計	4,711,576	5,456,011
負債の部		
流動負債		
買掛金	506,910	569,442
短期借入金	700,000	700,000
未払金	97,815	764,382
未払法人税等	121,080	136,919
その他	474,007	274,833
流動負債合計	1,899,813	2,445,576
固定負債		
資産除去債務	19,550	19,563
固定負債合計	19,550	19,563
負債合計	1,919,363	2,465,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,855	564,855
資本剰余金	545,344	545,344
利益剰余金	1,977,106	2,173,145
自己株式	△297,551	△297,602
株主資本合計	2,789,754	2,985,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	－	2,670
その他の包括利益累計額合計	－	2,670
新株予約権	2,458	2,458
純資産合計	2,792,212	2,990,871
負債純資産合計	4,711,576	5,456,011

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2021年４月１日 至　2021年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年６月30日）
売上高	1,602,724	2,657,285
売上原価	1,125,758	1,849,653
売上総利益	476,965	807,632
販売費及び一般管理費	272,106	373,771
営業利益	204,859	433,860
営業外収益		
助成金収入	－	14,513
雑収入	47	25
営業外収益合計	47	14,539
営業外費用		
支払利息	1,948	1,753
その他	－	145
営業外費用合計	1,948	1,898
経常利益	202,957	446,501
特別利益		
事業譲渡益	－	4,755
特別利益合計	－	4,755
税金等調整前四半期純利益	202,957	451,257
法人税、住民税及び事業税	60,622	131,754
法人税等調整額	6,978	8,675
法人税等合計	67,600	140,429
四半期純利益	135,357	310,827
親会社株主に帰属する四半期純利益	135,357	310,827

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2021年４月１日 至 2021年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2022年４月１日 至 2022年６月30日）
四半期純利益	135,357	310,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	－	2,670
その他の包括利益合計	－	2,670
四半期包括利益	135,357	313,498
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,357	313,498
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号　2021年６月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第１四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-２項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2021年４月１日　至　2021年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	合計（注）２
	マーケティング事業	インベストメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,584,658	18,065	1,602,724	－	1,602,724
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,584,658	18,065	1,602,724	－	1,602,724
セグメント利益又はセグメント損失（△）	211,089	17,591	228,680	△23,821	204,859

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△23,821千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 2022年４月１日 至 2022年６月30日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	合計（注）２
	マーケティング事業	インベストメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,324,029	333,256	2,657,285	－	2,657,285
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,324,029	333,256	2,657,285	－	2,657,285
セグメント利益又はセグメント損失（△）	367,726	93,535	461,261	△27,400	433,860

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△27,400千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。